

【教育目標】英知の風かおり 友愛の情ふかく 精励の志つねに



中野だより

令和4年 3月17日 発行 第44号 発行者:中野区立中野中学校

卒業という美しき別れかな (清崎敏郎)

3年ホールの壁面には卒業式までのカウントダウンカレンダーが掲示されている。3年生一人ひとりが卒業への思いを込め、自分や仲間たちに贈ったメッセージ集である。以下数点を紹介しよう。

「あっという間にその日が来る(卒業まであと117日)」「一段跳ばしなんてできない(同91日)」「今から数年後、あなたは頑張らなかつたことに後悔する(同64日)」「悔いのない学校生活を送ろう(同19日)」「残された時間を思いっきり楽しもう(同8日)」。そして、「卒業という美しき別れかな(同1日)」

最後は、大谷先生から最後を託された私が、カレンダーに書き込んだ俳句である。作者は国文学者で俳人で、高校の教壇に立った経験もある清崎敏郎氏。教え子の卒業という人生の岐路に遭遇し、教師としてのせつない想いを詠んだ句である。



3年生が中野中に入学してきた時、誰が昨今のコロナ禍の世の中を予想できたろうか。入学式の校長式辞でドラえもんの話をしたことを思うと隔世の感がある。

ご存じの通り、のび太は勉強も運動も苦手、ケンカも弱い小学4年生。将来は大学受験に失敗、会社をクビになる。宝くじの当選金を元手に立ち上げた会社は1年で倒産し、多額の借金を抱え込む。そこで、のび太の孫の孫のセワシがのび太の運命を変えようと、22世紀の未来から猫型ロボットのドラえもんを連れてきた。その時、のび太がセワシにこんなことを言う。「ぼくの運命が変わったら、君は生まれてこないことになるよ」と。

それに対してセワシは、「東京から大阪に行くときに、どんな乗り物、道筋を通っても、方向さえ確かなら大阪にたどり着く。歴史の流れが変わっても、必ず僕は生まれてくる」と断言する。それは、回り道をして、目的地を見失わず歩み続ければ、いつかはゴールにたどり着けるということだ。また、回り道の途中で新たな道を発見することもあれば、回り道が結果的に近道であったりすることもある。新たな道が偶然に見つかることもある。しかし、漫然と過ごしては見つけることはできない。必然は偶然を装ってやってくるのである。ともかく、目的地に到着するためには、歩みを止めてはいけないという、ドラえもんの作者の藤子・F・不二雄さんのメッセージを心に留めたい。

現3年生は、2年前の3月にコロナ禍による突然の臨時休校に始まり、様々な我慢と制約と変更を強いられた。思い描いたような中学校生活ではなかったかもしれない。でも、様々な逆境を経験したことで、強く鍛えられ、成長があったことは事実。中野中での3年間

が、これからの人生の糧となり、希望と理想の目的地に向って歩む道しるべとなれば幸いである。

桜の開花が近い。私たちは卒業式という厳かな集い、美しい別れを経て、いよいよ花の季節を迎える。

保護者・地域の皆様におかれましては本校へのご支援ご協力をいただきましたことに心から感謝申し上げます。



学校保健委員会を開催

2月24日（水）に学校保健委員会を開催しました。当日は、今年度の定期健康診断の結果を受けて、校医の先生方からご助言をいただきました。また、起立性調節障害について、校医の新井先生及び講師の野澤様よりご講演いただき、起立性調節障害の理解、親としての声かけなど、関わり方についての学びを深めることができました。

■学校医の先生方より

- ・若年層にも生活習慣病となるケースが増えている。将来に影響することなので、気をつけてほしい。
- ・ICT機器の使用について、近視への対策をすることが大切である。強度近視を防ぎ、18歳までに中度近視にならないよう注意してほしい。
- ・イヤホンやヘッドフォンの使用時、音量に気をつけることが大切である。また、花粉症の季節となったが、コロナ時代における花粉症対策が大切である。
- ・本人のストレスによる顎関節症が心配されている。また、1人で何本も虫歯になっているケースがあり、口腔内に対する関心を生徒・保護者にもってほしい。

□講演会の内容

- ・不登校生徒の3～4割が起立性調節障害（OD）を併存している。
- ・学校に行きたいけど、身体が動かない。見た目では分からないが、学校や周りが理解して関わるのが大切である。
- ・親としての声かけでも配慮ができるとよい。何が何でも学校に行け、ということではなく、いつでもどこからでも学べる時代、身体と心を休めることも大切である。

学校評議員会を開催

2月25日（金）に本年度最後の学校評議員会を開催しました。学校評議員会は、地域の学校運営への参画の仕組みとして平成12年度より実施しています。今年度は学識経験者や社会教育関係者等8名の方々に評議員として委嘱し、年3回の学校評議員会で学校運営や教育活動等に関するご意見やご感想をいただきました。

○中学生ともなると親に話をしなかつたり口数が少なくなつたりするなどで、子どもから学校の話聞くことは難しい。学校評価アンケートの結果で良くない点があるが、その影響があるのではないか。

○保幼小中連携教育の推進という項目があり、様々なところで連携していると思われるが、保護者からしてみれば、小中連携は理解していても、保育園や幼稚園と中学校が連携している認識が薄く、「保幼小中連携教育」全体が推進されていないと思われるのではないか。

○授業参観ができなかった分、学校ホームページを積極的に閲覧していた。アンケート結果で結果が良くなかったとしても、実際に取り組んでいることは決して悪くない。

○働く人の話を聞く会の運営に携わったが、講師をした方から「今時の中学生は（いい意味で）こんな感じなの？」と感心させられた。生徒が真面目すぎてびっくりしたようである。感染症によりできなくなったことが増えたため、時間の使い方など、楽にすることを覚えてしまった。行事などが無いことに慣れた生徒達が今後の社会貢献から離れてしまうのではないかと、という心配がある。

○不登校は、かつては人数も少なく目立っていたが、欠席者が増えていることが懸念される。生徒自身、学校に登校できないことを悲観する必要はないし、自分の生き方を大切にできるように、学校として働きかけてほしい。

令和3年度 学校評議員の皆様

月城 美紀さん③	齊藤 順子さん②
泉 敏郎さん③	高橋万里子さん①
渡島 郁弘さん②	渡辺 浩之さん①
中井 千鶴さん②	日向 篤さん①

○は任期（年目）

2年生 社会貢献活動調査のまとめを行いました

2年生の社会貢献活動調査を2月に実施しましたが、学習のまとめとして、訪問先のスローガンやイラストなどを交えたポスターをグループで作成し、現在廊下に掲示しています。

訪問先で学んだことを、今後の学びや生き方につなげてくれることを期待しています。



3年生 特別授業「命の授業」を実施

3月9日（水）、松が丘助産院の院長の宋祥子先生を講師として実施しました。当日は、乳児をもつ母や妊婦の方にもお越しいただき、生命の誕生や命を育み育てることの大切さ、性を正しく理解し、互いの人格を尊重し合うことについて、実体験を交えながらお話しいただきました。講義の後半では、生徒たちは赤ちゃん人形を使って、抱っこやおむつ替えの体験を行い、命を育むことの尊さについて理解することができました。



生徒の活躍

- ・中野区教育委員会 生徒表彰 2年 本橋
第十回全国書写書道総合大会 令和三年度全国学生書写書道展で大賞を受賞



表彰者については、中野区ホームページにてご覧いただけます→

- ・体育優良生徒 3年 下山、島崎
- ・産業教育振興賞 3年 佐々木、木村
- ・ボランティア表彰 3年 下山、古屋、鈴木、和久田

教材費等会計報告と返金について

令和3年度の会計報告につきまして、1・2年生は3月11日（金）に、3年生は3月17日（木）にお手紙を配布しました。返金は4月末までに振り込みにより行いますが、令和3年度分の返金は「西武信用金庫」にて行うため、振り込みがされるまで口座の解約等をされないようお願いします。

なお、令和4年度以降の学校徴収金は「ゆうちょ銀行」にて行います。

<徴収・返金のスケジュール>



春季休業中について

3月26日（土）から4月5日（火）まで春季休業日となります。この期間中、教育活動休止日はありませんので、月曜日から金曜日までは学校に連絡することができます。なお、土曜日・日曜日は留守番電話となりますので、学校へ連絡が必要な場合は、平日にお願いします。

緊急の連絡や、発熱が生じた場合の相談窓口は以下の通りです。

【学校関係】

- ・中野区教育センター 03-5937-3083
- ・中野区教育委員会指導室 03-3228-5589

【防犯・安全】

- ・野方警察署 03-3386-0110
- ・中野警察署 03-5925-0110

【発熱時】

- ・東京都発熱相談センター03-5320-4592

中野中学校 03-3389-1471